平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月24日

上場会社名 株式会社 JIEC　　上場取引所　東
コード番号 4291　URL http://www.jiec.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山本 裕文
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員管理本部長　(氏名) 佐藤 隆　TEL 03-5326-3331
四半期報告書提出予定日　平成26年2月7日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,237	5.3	794	14.0	801	13.7	489	16.0
25年3月期第3四半期	9,723	9.4	696	22.9	705	22.4	421	20.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	71.31	—
25年3月期第3四半期	61.45	—

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。1株当たり四半期純利益につきましては、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出した金額を記載しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	11,344	9,684	85.4	1,411.85
25年3月期	11,424	9,418	82.4	1,373.18

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期 9,684百万円　25年3月期 9,418百万円

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。1株当たり純資産につきましては、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出した金額を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1,250.00	—	1,750.00	3,000.00
26年3月期	—	1,500.00	—		
26年3月期(予想)				15.00	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。平成26年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金につきましては、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当額は、3,000円00銭(第2四半期末:1,500円00銭 期末:1,500円00銭)となります。

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,700	1.3	1,100	7.7	1,100	6.3	660	5.9	96.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、9,622円25銭となります。

※　注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②①以外の会計方針の変更　：　無

③会計上の見積りの変更　：　無

④修正再表示　：　無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	6,859,100 株	25年3月期	6,859,100 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	― 株	25年3月期	― 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	6,859,100 株	25年3月期3Q	6,859,100 株

(注)当社は、平成25年10月１日付で普通株式１株につき100株の株式分割を実施しております。上記の株式数につきましては、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 株式分割について

当社は、平成25年10月１日付で普通株式１株につき100株の株式分割を実施しております。これに伴う平成26年３月期の配当予想及び業績予想につきましては、該当項目をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（セグメント情報等） …… 7
５．補足情報 …… 8
生産、受注及び販売の状況 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

(１)経営成績に関する説明

当第３四半期におけるわが国経済は、米国経済が回復しつつあることや、国内政策を背景とした円安・株高を受けて、緩やかな回復基調で推移しました。

消費税率引き上げによる経済の冷え込みや、新興国経済の減速など先行きに懸念材料はあるものの、国内企業の景況感や雇用情勢には改善がみられ、投資意欲も高まりつつあります。

当業界においては、システム環境を所有せず、ネットワークを介して利用することが一般的なものとなり、ユーザーが、モバイル環境から場所や時間にとらわれずにシステムへアクセスすることも当然のようになりました。さらに、企業内外で日々発生する大量のデータを有効に活用することについては大きなテーマとなっております。

このような環境の変化に対応し、当社は、コアコンピタンスである基盤技術に、クラウド、モバイル、ビッグデータといった先進分野を取り込み、対応領域を拡充しております。

当社を取り巻く事業環境は、保険、銀行、証券などの金融機関を中心に、経営統合に伴うシステム開発案件等が活発であり、情報システム投資は堅調さを維持しております。また、金融以外の分野でも、大型案件が立ち上がりつつあり、要員の稼働につきましては、数年来取り組んでまいりました人員配置の最適化施策の効果とあわせて、引き続き高い水準にあります。

そのようななか、当社は製販一体となって、お客様のニーズを確実にとらえるとともに、既存資産と先進技術の融合によるシステムの最適化において当社の価値を訴求し、受注の最大化と収益の確保を目指しております。

これらの結果、当第３四半期累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高は、10,237百万円(前年同期比＋5.3%)、営業利益は、794百万円(前年同期比＋14.0%)、経常利益は、801百万円(前年同期比＋13.7%)、四半期純利益は、489百万円(前年同期比＋16.0%)となりました。

(２)財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は、前事業年度末に比べ79百万円減少し、11,344百万円(前事業年度末比△0.7%)となりました。

流動資産の減少58百万円のうち、主な増減項目は、現金及び預金の増加805百万円、関係会社預け金の減少216百万円、売掛金の減少620百万円、有価証券の減少397百万円、仕掛品の増加273百万円であります。

固定資産は、ほぼ前事業年度末並みとなっております。

(負債)

負債合計は、前事業年度末に比べ344百万円減少し、1,660百万円(前事業年度末比△17.2%)となりました。主な増減項目は、未払法人税等の減少、賞与引当金の減少であります。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ265百万円増加し、9,684百万円(前事業年度末比＋2.8%)となりました。これは主に、四半期純利益の計上によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、420百万円(前年同期比＋627百万円)となりました。主な増減項目は、営業収入の増加1,066百万円、外注費の支払及び購入による支出の増加352百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、84百万円(前年同期比△215百万円)となりました。主な増減項目は、有価証券の取得による支出の減少699百万円、有価証券の償還による収入の減少900百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、△215百万円(前年同期比△50百万円)となりました。これは、増配に伴う配当金の支払額の増加によるものであります。

これらの結果、当第３四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末から289百万円増加し、7,314百万円となりました。

(３)業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年４月23日発表の通期業績予想は据え置くものとします。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる場合があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

(１)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(２)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,972,234	4,777,928
関係会社預け金	2,652,162	2,435,852
売掛金	2,351,934	1,731,376
有価証券	1,298,836	901,782
仕掛品	96,031	369,355
その他	454,346	550,868
流動資産合計	10,825,546	10,767,164
固定資産		
有形固定資産	48,617	63,358
無形固定資産	76,555	58,446
投資その他の資産	473,877	456,006
固定資産合計	599,050	577,811
資産合計	11,424,596	11,344,976
負債の部		
流動負債		
買掛金	488,180	469,950
未払法人税等	241,216	23,053
賞与引当金	548,911	294,239
役員賞与引当金	－	7,338
工事損失引当金	2,233	44,423
その他	387,152	500,716
流動負債合計	1,667,693	1,339,723
固定負債		
退職給付引当金	325,131	308,199
役員退職慰労引当金	13,004	13,004
固定負債合計	338,135	321,203
負債合計	2,005,829	1,660,926
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,184	674,184
資本剰余金	640,884	640,884
利益剰余金	8,118,070	8,384,253
株主資本合計	9,433,139	9,699,322
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,371	△15,272
評価・換算差額等合計	△14,371	△15,272
純資産合計	9,418,767	9,684,049
負債純資産合計	11,424,596	11,344,976

（２）四半期損益計算書
第３四半期累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	9,723,646	10,237,203
売上原価	7,845,100	8,176,793
売上総利益	1,878,546	2,060,409
販売費及び一般管理費	1,181,563	1,265,966
営業利益	696,983	794,443
営業外収益		
受取利息	11,434	11,163
その他	1,490	1,239
営業外収益合計	12,924	12,402
営業外費用		
支払手数料	4,356	4,912
営業外費用合計	4,356	4,912
経常利益	705,551	801,932
特別利益		
受取和解金	－	6,000
特別利益合計	－	6,000
特別損失		
固定資産除却損	17	116
特別損失合計	17	116
税引前四半期純利益	705,534	807,816
法人税、住民税及び事業税	154,344	221,266
法人税等調整額	129,687	97,446
法人税等合計	284,032	318,712
四半期純利益	421,501	489,103

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	9,649,059	10,715,220
外注費の支払及び購入による支出	△3,972,988	△4,325,651
人件費の支出	△4,772,777	△4,794,759
その他の営業支出	△744,776	△756,312
小計	158,516	838,497
利息及び配当金の受取額	11,791	12,215
法人税等の支払額	△376,828	△429,713
営業活動によるキャッシュ・フロー	△206,519	420,999
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△3,299,125	△2,599,765
有価証券の償還による収入	3,600,000	2,700,000
有形固定資産の取得による支出	－	△32,548
無形固定資産の取得による支出	△761	△1,858
敷金及び保証金の差入による支出	△1,069	△184
敷金及び保証金の回収による収入	718	18,486
投資活動によるキャッシュ・フロー	299,761	84,130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△164,703	△215,661
財務活動によるキャッシュ・フロー	△164,703	△215,661
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△71,461	289,468
現金及び現金同等物の期首残高	6,148,988	7,024,629
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,077,526	7,314,097

（４）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社の事業は、システム開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

５．補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第３四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、以下のとおりであります。

品目	生産高(千円)	前期比増減率(%)
システム開発	10,285,363	4.4

(注) １　金額には、消費税等は含まれておりません。
　　２　生産実績は、販売価格に基づいて算出しております。

② 受注実績

当第３四半期累計期間における受注実績を品目別に示すと、以下のとおりであります。

品目	受注高(千円)	前期比増減率(%)	受注残高(千円)	前期比増減率(%)
システム開発	10,785,698	7.9	2,729,980	20.0
製品販売	193,914	50.9	132,172	23.8
合計	10,979,612	8.4	2,862,153	20.1

(注)　金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第３四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、以下のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前期比増減率(%)
システム開発	10,012,039	5.2
製品販売	225,164	11.4
合計	10,237,203	5.3

(注)　金額には、消費税等は含まれておりません。